

感染症定期報告感染症別文献一覧表 (医療機器 2017/11/1~2018/3/31)

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	E型肝炎	Epidemiol Infect. 145(2017)2417-2423	英国及びウェールズにおいて新たに出現したファイロタイプのエ型肝炎ウイルス (HEV) G3-2に起因するヒト感染を引き起こしたブタ肉製品について調査した。あるスーパーマーケットでハムやソーセージを購入した試験参加者において、高い割合で HEV G3-2感染が認められた。HEV G3-2ファイロタイプは、英国原産のブタからは検出されておらず、原産地が英国以外のブタ肉を使用した製品の摂取の結果としてヒトへの感染が生じた可能性が示唆されている。
2	E型肝炎	The Pig Site.http://www.thepigsite.com/swinenews/44037/pork-likely-to-be-linked-to-hepatitis-e-in-uk/2017/08/28	英国Public Health England (PHE) の調査によると、大手スーパーマーケットで販売されているブタ肉製品で、英国の人々がHEVに感染した可能性がある。PHEは、英国内のブタからはそのウイルス株が検出されておらず、国外で作られた製品を摂取して感染した可能性があるとして述べている。
3	レトロウイルス感染	Xenotransplantation. 2017 Jul;24(4)	ブタ角膜実質細胞からヒト細胞へのブタ内在性レトロウイルス (PERV) の感染性を解析し、ブタからヒト以外の霊長類 (NHP) の角膜移植モデルを使用してPERV感染の長期的なリスクを検討した。ブタ角膜にPERV発現細胞は存在しているものの、本研究の範囲内では、ブタ角膜組織からNHPレシピエントにPERVが感染するリスクがあることを支持するエビデンスはない。
4	インフルエンザ	http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_12_07_2017.pdf?ua=1	2017年10月30日以降、インフルエンザA (H1N1) 変異型 (H1N1v) ウイルスはアイオワ州で1例、インフルエンザA (H1N2v) ウイルスはコロラド州で1例、インフルエンザA (H3N2v) ウイルスは2例の感染が確認された。
5	H1N1インフルエンザ	ProMED-mail 20171227.5523467	2017年10月30日以降、米国のアイオワ州で、インフルエンザA (H1N1v) ウイルスによる新たな感染1例が見つかった。今回が、2017年の最初の報告症例である。また、米国のコロラド州で、インフルエンザA (H1N2) ウイルスの新たな感染1例が見つかった。2005年以降13例発生しており、うち4例が2017年に発生した。さらに、米国の別々の州で、インフルエンザA (H3N2v) ウイルスの2例の感染が見つかった。2005年以降433例発生しており、うち61例が2017年に発生した。
6	カンピロバクター感染	ProMED-mail 20170907.5301804	カナダにおいて、2例のCampylobacter jejuniの陽性例の報告があり、2例ともローストポークが出された同じイベントに参加していた。地方保健局の調査で、当該イベントに参加した82名のうち、74名に聞き取り調査を実施し、33%が体調不良を経験していた。
7	旋毛虫症	Outbreak News Today. http://outbreaknewstoday.com/bulgaria-three-trichinosis-outbreaks-reported-in-burgas-47426/ 2017/12/22	EU Scoop reportによると、ブルガリアのBurgasの健康検査局の長官であるVerginia Tzanova博士は、ブルガリア南東部のKarnobat (2例)とObzor (1例)の町で旋毛虫症が発生したと発表した。Karnobatの違法農場で購入したブタが関係している。
8	ジアルジア症	Parasitol Res. 115(2016):3197-3202	ジアルジア症は、獣医学的および公衆衛生的な意味合いを持つ、世界的に再燃している原虫感染症である。農村地域において家畜固有のランブル鞭毛虫 (assemblage E) が人畜共通感染する可能性を調査するため研究を実施した。
9	肝蛭症	長崎県家畜保健衛生業績発表会集録 58(2016)12-15	肝蛭症の増加に伴い、発生農家による調査を行い、汚染状況・汚染源特定調査及び発生農家・管内農家における対策について報告された。
10	感染	Gene. 2017 Sep 27. Pii: S0378-1119(17)30792-8. Doi: 10.1016/j.gene.2017.09.058	本研究は、循環するブタサーコウイルス2型 (PCV2) における、組換え株の優位性を報告している。PCV2の組換え株が明らかに優位性をもって循環していることが判明した。本研究から、PCV2の組換えにより順応性の高い株が出現し得る可能性が示唆された。
11	感染	Virus Evol. 2017 Aug 23;3(2):vex022. doi: 10.1093/ve/vex022. eCollection 2017 Jul.	本研究は、塩基配列データからPosa and Posa-like viruses (PPLVs) と称したウイルスの存在を調べ、ヒト、ラット、ブタ及びゴキウモリのサンプルから多数得られた新規のウイルスゲノムについて、過去に特性付けられているposa virusとの相同性及びタンパク質ドメイン構造の共有について検証した。
12	感染	Virol J. 2017 Oct4;14(1):191. Doi:10.1186/s12985-017-0850-1	本研究は、チリでの離乳後多臓器性発育不良症候群 (PMWS) の大流行時における、PCV2の遺伝的多様性を初めて明らかにした。遺伝子型PCV2a及びPCV2dが組換えを起した結果、新規クラスターとしてチリ型の配列が出現したことを示唆している。